

# インフラ整備が成長の鍵



ご参考資料  
2015年8月

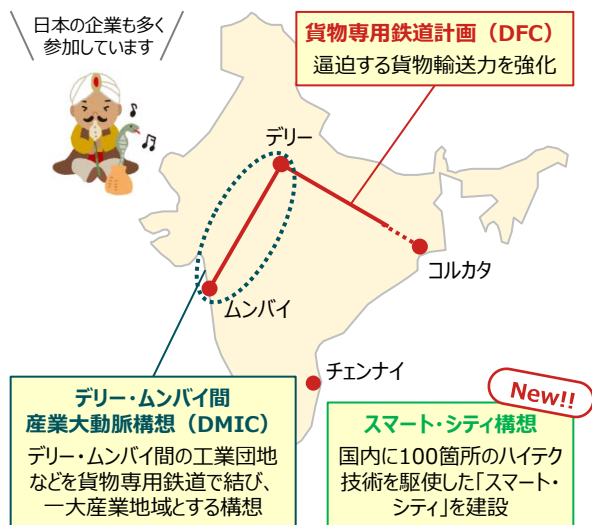
モディ政権が発足後はじめて発表した通年度の予算案※、2015年度予算案では、インフラ投資に7,000億ルピー（約1.4兆円）を拠出する計画となっており、インフラ投資に重点的に資金が配分されています。

年度のスタートとなる4月の道路、鉄道、地方インフラ整備向けの支出は、前年同月比で5割程度の増加と、順調な滑り出しとなりました。

また、モディ首相は2022年までに国内100箇所に「スマート・シティ（環境配慮型都市）」を建設する計画を発表しました。2022年はインドの独立75周年という節目の年です。

シン前首相時代は「インフラ整備の遅れ」、「財政および経常赤字（双子の赤字）」などにより、経済が低迷しましたが、モディ首相のもとインドの水、電力、良好な衛生環境、公共交通などの社会基盤が整ってくると、インド経済の発展につながると期待されています。

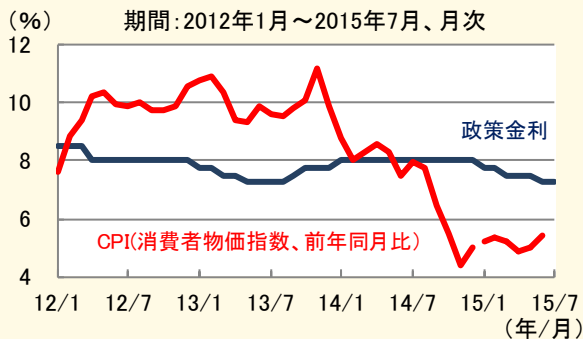
## ■インド国内で進むインフラ整備計画



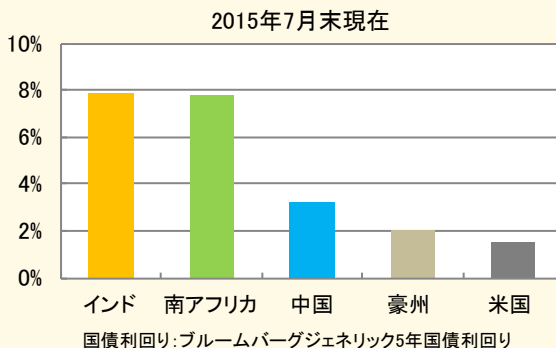
※インドの会計年度は4月～翌年3月上記はイメージです。実際の地理的位置を正確に示したものではありません。(出所)インド財務省発表資料等を基に野村アセットマネジメント作成

### ■政策金利とインフレ率の推移

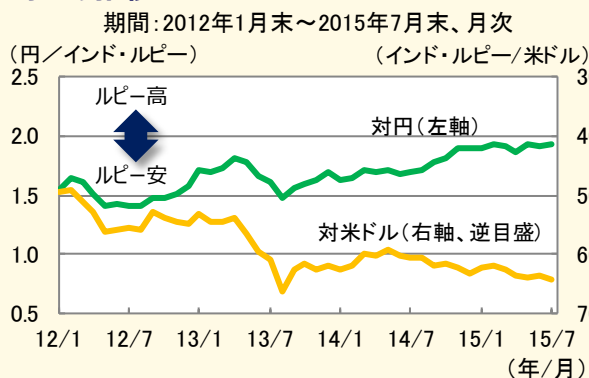
CPIは2015年6月まで。  
2014年12月までは旧基準のデータ。



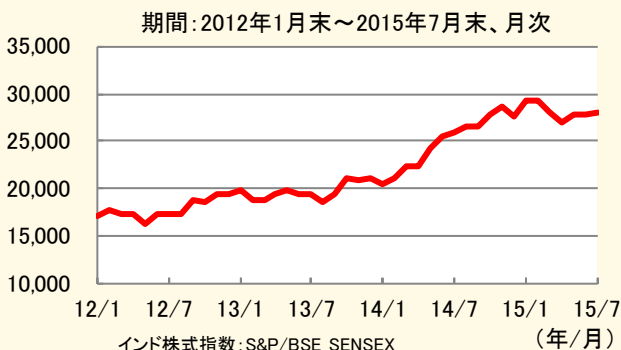
### ■各国の国債利回り比較



### ■為替の推移



### ■インド株式指数の推移



(出所)ブルームバーグデータを基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。